

2月の

知つ得情報

みなさん、明けましておめでとうございます！本年も車に関する耳寄りな情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いします。

静電気対策をして快適なカーライフを！

寒い冬のこの時期、車を降りてドアを閉めようしたら、“ピリッ”と静電気を感じて痛い思いをされた人は多いのではないでしょうか。静電気が起きる主な原因是乾燥と摩擦です。外気が乾燥しやすい冬は静電気を大気中に放出しにくくなるので体に溜まってしまいます。乗車中に衣類とシートの摩擦で静電気が溜まっていき、降りるときにドアなどの金属に触れたとき放電され“ピリッ”となってしまうのです。

いろいろな方法がありますが、今回は手軽にできる車の静電気対策を紹介したいと思います。

◎車に乗るとき

- ・ドアを触る直前に地面や壁などに触れる

ドアを触る直前に地面や壁など先に触れておくことで、体に溜まっている電気を放電してくれる効果があります。



◎車から降りるとき

- ・地面に足をつける前に車体の金属部分に手を触れた状態で降りる

金属部分に触れたまま足を地面につけることで体に溜まった電気を外へ放電してくれます。ドアを開け、シートから腰を上げる前に車体の金属部分に手を触れた状態で降りましょう。ポイントは、両足を地面につける時まで金属部分に触れていること、そして両足が地面についたときに手を離すことです。

その他にも、手洗いや、ハンドクリームを塗って手の乾燥を減らすことで、静電気の発生を抑えることができます。また、ドアを触るときに手のひら全体で触ると指先で触った時に比べ静電気の痛みを感じにくくすることができます。

いかがでしたか？静電気から身を守るにはとにかく電気をためない、そして体に溜まった電気を逃がすことを意識しましょう。